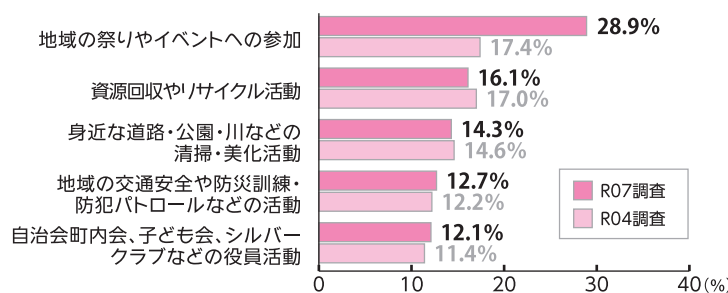


地域の祭りやイベントへの参加が増加

問10 ア お住まいの地域で、この1～2年の間に行った活動は何ですか？(複数回答)

この1～2年の間に行った活動については、前回調査と比べると、「地域の祭りやイベントへの参加」が大きく増加しました。

一方、重要度が高いと考える活動については、防災・防犯の取組、高齢者や障害者、子どもの見守りや手助けが上位に挙げられました。



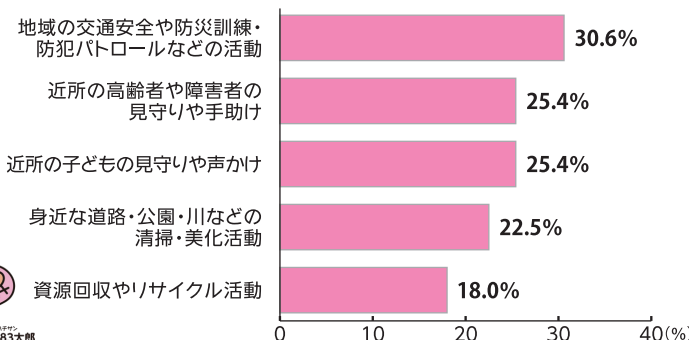
問10 ウ 今後、地域の中でより充実させていくべき、重要度が高いと考える活動は何ですか？(複数回答)

コラム 港南ひまわり83運動について

港南ひまわり83運動は、「散歩や庭先の掃除、買い物など外での用事を、小学生が登下校する時間帯(8時と3時)を目安にしましょう」という活動で、地域の見守りとして広がっています。

港南ひまわり83運動

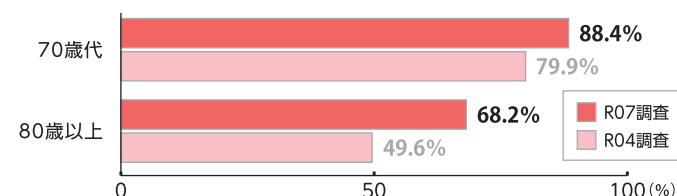
検索



70歳以上のスマートフォンの所有率が大幅に増加

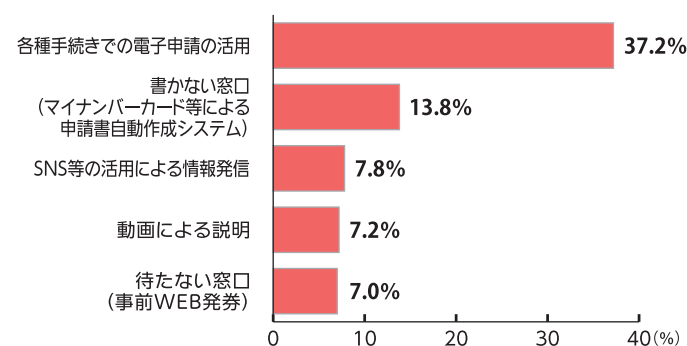
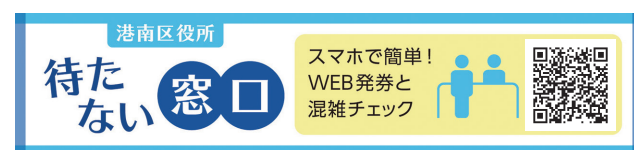
問24 あなたは、スマートフォンをお持ちですか？

港南区におけるスマートフォンの所有率は91.8%となり、70歳以上の方の所有率が大きく増加しています。中でも、80歳以上の方の増加が顕著です。



問25 港南区のデジタル化の取組について知っていますか？(複数回答)

「電子申請の活用」が最も認知され、区民に身近な取組として知られる一方、他の取組は認知度が低く周知が課題です。



令和7年度

港南区区民意識調査結果

(概要版)

港南区役所では、区民の皆様のご意見を活かした区政運営を進めるため、区民意識調査を3年に一度実施しています。

今回は、生活環境や災害に備えた対策、健康づくりなどの他、調査項目として新たに子育て、フレイル等についてお尋ねし、多くの区民の皆様からご回答をいただきました。

調査概要

- 調査対象：港南区区内にお住まいの18歳以上の方4,000人(68人の外国籍区民含む)
- 抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出
- 回収数等：2,343票(回収率58.6%)
- 調査期間：令和7年5月13日～6月17日
- 調査方法：郵送による配布・回収 ※回収は電子申請・届出システムも併用

1 定住意向

港南区に住み続けたいと思っている方は8割を超える

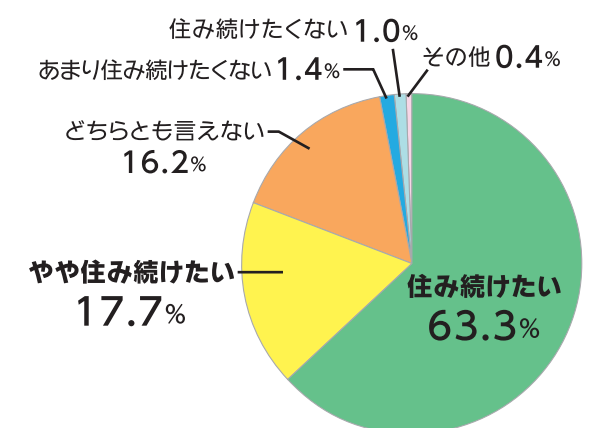
F11 これからも港南区に住み続けたいと思いますか？

「住み続けたい」と「やや住み続けたい」の回答の合計が81.0%となり、多くの方が港南区を暮らしやすいと感じていることがうかがえます。

コラム お住まいの地域の生活環境について

お住まいの地域の生活環境に対する調査では、皆様の日常生活の満足度を測るため、「まちなみ・環境」「福祉・保健」「教育・文化」「生活」の分野について、お尋ねしています。

前回調査と比較して、多くの項目で「そう思う」「どちらかというとそう思う」の回答の割合は増加し、全般的に住んでいる地域への評価は高くなっています。



※無回答(155件)は除く

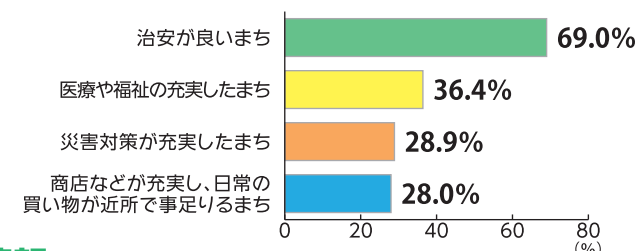
2 区の将来像

区民が望むのは安全・安心に暮らせるまちづくり

問34 港南区が将来に向けて、どのような方向に発展していくことが望ましいと思いますか？(3つまで:複数回答)

「治安が良いまち」との回答が69.0%で最も多くなりました。

多くの方が港南区に「住み続けたい」と考えていることもあり、安全・安心に暮らせるまちづくりを求めている声が多く寄せられました。



コラム 関心のある情報や充実させてほしい情報

区役所から発信される情報のうち、関心のある情報や充実させてほしい情報は「防災・防犯に関する情報」が前回同様で最多となり(66.8%)、引き続き安全・安心に暮らせるまちへの関心が高いことが読み取れます。続いて、健康・医療に関する情報(52.5%)、福祉サービスに関する情報(40.0%)となりました。

●詳細な報告書は、区ホームページや区役所、地区センター、地域ケアプラザ、コミュニティハウスにてご覧いただけます。

【区民意識調査URL】 <https://www.city.yokohama.lg.jp/konan/kusei/tokei/ishiki.html>

●小数点第二位以下を四捨五入しているため、グラフの合計が100%にならない場合があります。

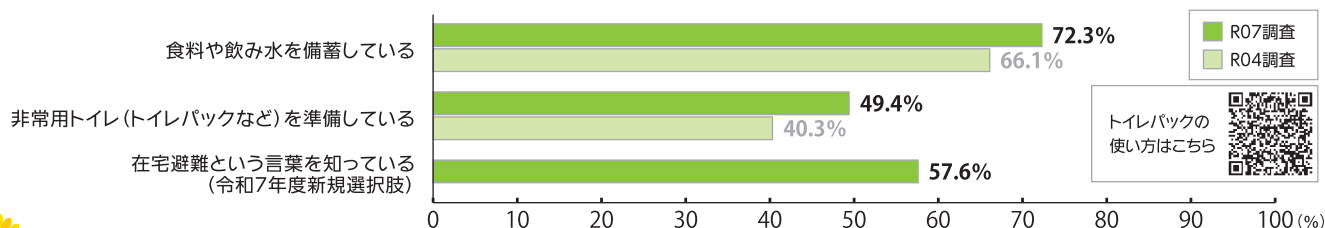
発行日:令和8年1月
発行:港南区総務部区政推進課企画調整係 〒233-0003 横浜市港南区港南四丁目2番10号
電話:045-847-8327 FAX:045-846-2483



区民意識調査

家庭での備えが**着実に進む**、風水害時の避難先把握に課題

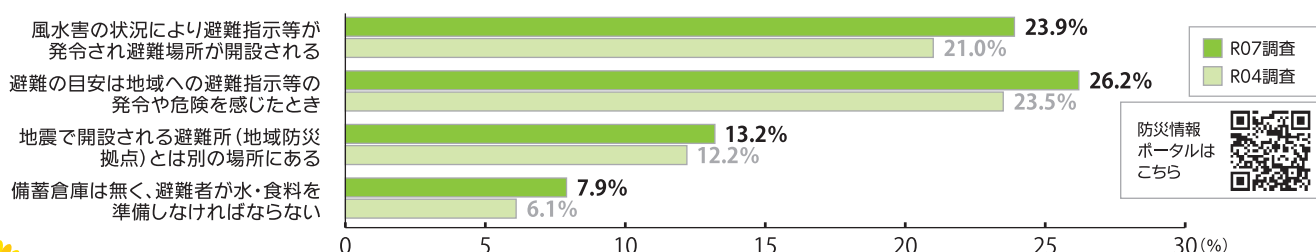
問2 あなたの家では、災害に備えて、どのような対策をとっていますか？(複数回答)



コラム トイレバックについて

被災した際、水や食料と同様に重要なのがトイレです。トイレバックはトイレの便器などに設置して使用する「袋」と「凝固剤」のセットです。備蓄の目安は1人1日5回×3日分(できれば7日分)となりますので、これを家族分用意しましょう。(ホームセンター等で購入できます。)

問5-2 大雨・洪水・台風で開設される避難場所について知っていますか？(複数回答)

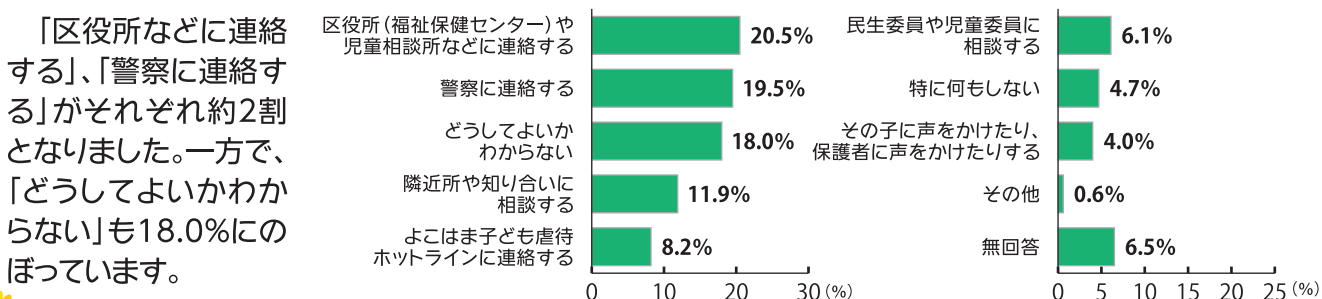


コラム 震災時と風水害時の避難先の違いについて

市内で震度5強以上の地震を観測した場合、地域主体の運営委員会が中心となり**市内の小・中学校に避難所(地域防災拠点)**を開設します。一方、風水害時は気象状況により避難指示等が発令された際(可能性があるとき)に、状況に合わせて区職員が**地区センターなどの避難場所**を開設しますので、避難される際は防災情報ポータルをご確認下さい。

区役所や児童相談所などへの連絡が**最多**

問22 あなたは、虐待が疑われる児童に気がついた場合、どのような対応をとりますか？



コラム これって虐待かも?と思った時の連絡先

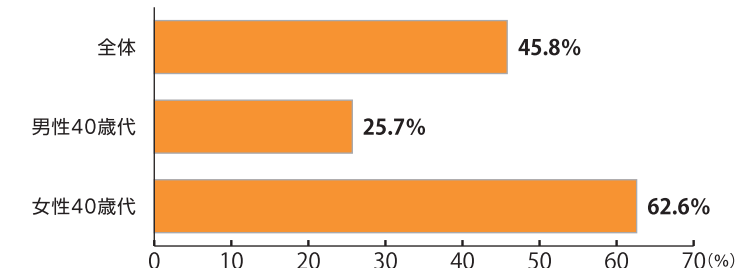
- ▶区役所こども家庭支援課 TEL 045-847-5612 月～金曜日 8時45分～17時 ※祝休日、年末年始を除く
- ▶南部児童相談所 TEL 045-349-0122 月～金曜日 8時45分～17時 ※祝休日、年末年始を除く
- ▶よこはま子ども虐待ホットライン TEL 0120-805-240 (24時間365日)



男性のがん検診の受診率が**低い傾向**

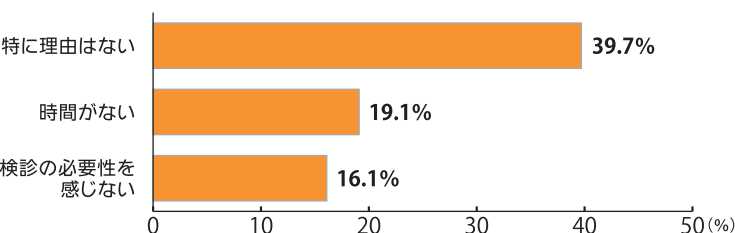
問9 あなたは概ね過去2年間にがん検診を受けましたか？

がん検診の受診率については、全体では半数を下回りました。40歳代を男女別にみると、女性では6割を超えているものの、男性では3割を下回っており、男性の受診率は低い傾向が見られます。



問9-2 がん検診を受けなかった理由は何ですか？(複数回答)

がん検診を受診しなかった理由は、「特に理由はない」が39.7%で最も高く、がん検診への関心が薄いことがうかがえます。

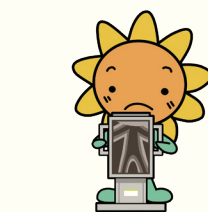


コラム がん検診について

がんは長い間、脳血管疾患、心臓病とともに、三大死因の一角を占めており、生涯、2人に1人は何らかのがんになるとも言われています。がん検診のメリットには早期発見・早期治療によるがん死亡の減少が挙げられます。がんの早期発見のためには、「症状が出てから」ではなく「症状が出るより前」に検査を受ける必要があります。症状が出ていないからといって油断をせず、定期的ながん検診を受けることが大切です。

横浜市がん検診

検索

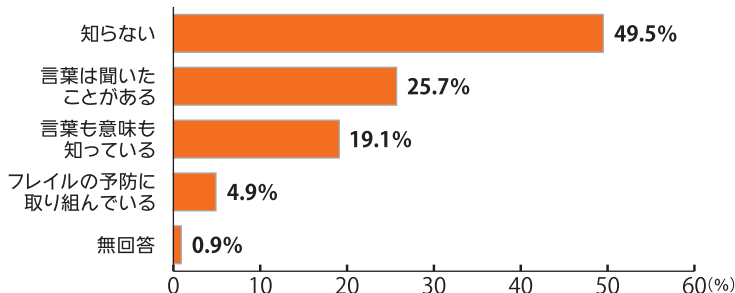


港南区ウォーキング推進キャラクター ひまわりくん

フレイル(虚弱)について「**知らない**」が約半数

問23 フレイル(虚弱)について知っていますか？

フレイルの認知度については、「知らない」との回答が約半数で最も多く、「フレイルの予防に取り組んでいる」との回答は4.9%にとどまっています。今後広く認知されることが期待されます。



コラム フレイル予防で健康長寿に!

フレイルとは、年齢を重ねたり、病気になったりすることで、体力や気力、認知機能など、からだところの機能(はたらき)が低下し、将来介護が必要になる危険性が高くなっている状態をいいます。**フレイル予防**は、小さな変化に気づき、早い段階から「4つの柱:運動・口腔・栄養・社会参加」の取組を日常生活で一体的に習慣化することが大切です。

横浜市フレイル予防

検索



港南区フレイル予防普及啓発キャラクター ひまさん